<u>第 51 回</u> UNIRITA ユーザ会 総会議案

第1号議案 2023年度活動報告

1. 2023 年度活動グループ一覧

2023 年度研究グループ: 28 グループ

地域	研究部会	No	研究グループ名	メンバ数
東日本	東日本情報活用	IE01	これからの IT	14
		IE02	データ活用によるカスタマーサクセス	5
		IE03	Web3.0 をビジネスで活かすには	6
		IE04	HRTech で変わる IT 人材調達と育成	4
		IE05	サーバーレスコンピューティングで企業はどう変わるか?	5
		IE06	わかりやすいゼロトラストセキュリティ	4
		IE07	DX 時代のビジネスアナリスト	5
		IE08	データファブリックの必要性	4
		IE09	量子コンピュータの可能性	6
		IE10	属人化を解消する技能伝承とリスキリング	6
		IE11	属人化を解消する技能伝承とリスキリング	6
		T	東日本情報活用研究部会合計	65
	東日本システム運用	OE01	運用管理事例	23
		OE02	パブリッククラウドのシステム運用業務	3
		OE03	SDGs テックを用いた IT 部門の社会貢献	7
		OE04	障害未然防止のための予兆検知	4
		OE05	システム運用業務のテレワーク実現	5
		OE06	システム運用業務の引継ぎ	8
		OE07	システム運用業務のスペシャリスト像	4
	東日本システム運用研究部会合計			
			東日本合計 	119
中部	中部情報活用	IN01	今後求められる IT 技術、IT エンジニアの姿を考察	7
	中部システム運用	ON01	貴方が考える「運用業務の将来、必要となるスキル」とは	5
	≖□ ★△□	CHIOI	中部合計	12
西日本	西日本合同	GW01	業務変革とIT活用	21
		GW02	職場の心理的安全性を高めるコミュニケーション技術	7
		GW03	職場の心理的安全性を高めるコミュニケーション技術	7
		GW04	AI を活用した自動化の実現	6
		GW05	メタバースと社内活用	8
		GW06	DX 組織を前提とした技術者のアップデートを考える	6
		GW07	マルチクラウドにおける ITIL4 西日本合計	5 60
九州	 九州情報活用システム運用	IKOK01	メタバース活用で変わる業務	6
74/11	/ J/III日TMIL/IIマハノの圧用	11301301	九州合計	6
	.		合計 92 社	195
			2022 年度 78 社	171
			+14 社	+24 名

2. 研究部会運営会議

研究部会の運営、研究部会間の調整等について、各研究部会代表とユーザ会幹事の代表が討議する研究部 会運営会議が以下のとおり開催された。

通算回数	月日(場所)	内 容		
第 60 回	2023.4.21	・ 2022 年度研究部会活動について		
	(ハイブリッド開催)	- 研究グループ参加者数		
		- 2022 年度研究活動賞表彰結果について		
		- 2022年度シンポジウムアンケート結果について		
		- 2022年度活動について研究部会代表よりご報告		
		・ 第 39 回ユーザシンポジウム報告		
		・ 2023 年度ユーザ会スケジュールについて		
		・ 2023 年度の研究グループ申込み状況について		
		・ 2023 年度研究部会運営について		
		・ 第 40 回ユーザシンポジウムについて		
		・ 代表・副代表、幹事間の意見交換について		
		イベントおよび提出物・提出スケジュールについて		
第 61 回	2023.11.8	2023 年度活動について		
	(ハイブリッド開催)	・ IT ゼミナール開催報告		
		・マネジメント研究会開催報告		
		2024年3月 UNIRITA ユーザシンポジウムの開催について		
		・ 2023 年度 研究発表要領について		
		・ 冬の全体会について		
		・ 来期研究メンバの募集について		
		・ 2023 年度 研究発表の評価方法と評価基準について		
		- 審査員特別賞について見直しを検討		
		• 意見交換会議題		
		- 活動期間中の個人負担、苦情の第三者連絡の仕組みの強化について		
		- 研究論文の復活		
		- リモート活動のみのチーム		
		・ 情報処理学会との連携について		
		今後のスケジュールについて		

3. 研究部会活動

1) 春の全体会

月日(場所)	内 容
2023.5.23	・ UNIRITA ユーザ会 中部幹事・中部地区代表紹介
中部合同	・ 2023 年度研究部会の活動スケジュール・活動の流れについて紹介
(TKP 名古屋駅前	・ 録画視聴(シンポジウムハイライト、2022年度 最優秀活動賞)
カンファレンスセンター)	・ アイスブレイク
	・ 各研究グループでの討議
	・ 各研究グループの代表からの発表
	・事務局連絡
	• 総評
	・ 懇親会
2023.5.24	· 開会挨拶·役員紹介
西日本合同	ユーザ会活動について
(TKP ガーデンシティ大阪	・ 2022 年度 最優秀活動賞 東日本情報活用研究部会の講演(録画視聴)
リバーサイドホテル)	・ 2022 年度 優秀活動賞 西日本情報活用研究部会の講演
	・ 事務局連絡
	・ 研究グループ討議・写真撮影
	・ 研究グループ活動計画発表・フィードバック
	· 総評
	懇親会
2023.5.25	・開会挨拶
九州	ユーザ会活動について
(株式会社インフォセンス様	・ 2022 年度 九州情報活用システム運用研究部会の講演(録画視聴)
会議室)	・ 事務局連絡
	・ 研究グループ討議・写真撮影
	・ 研究グループ活動計画発表・フィードバック
	懇親会
2023.5.26	・ 研究部会代表・副代表の紹介
東日本合同	・ 研究活動の流れ
(TKP ガーデンシティ品川)	・ 研究グループ討議
	・ 各グループからの発表
	・・昨年度最優秀グループの講演
	・ 研究部会代表・副代表からの総括
	・ 事務局連絡
	・ 懇親会

2) 冬の全体会

月日(場所)	内 容
2023.12.8	・ 代表・副代表の挨拶
東日本合同	各グループからの発表
(TKP ガーデンシティ PREMIUM	・ プレゼンテーション講習
品川 HEART)	・ プレゼンテーション講習の質疑応答
	・ プレゼンテーション方法の協議 ※各研究グループ
	• 事務局連絡
	• 総評
	・ 懇親会(シンポジウムの発表枠決め)
2023.12.12	・ 各研究グループ活動報告とフィードバック
中部合同	グループ討議
(ウインクあいち)	シンポジウムの発表枠決め
	• 事務局連絡
	· 総評
	 懇親会
2023.12.13	各研究グループ活動報告とフィードバック
九州地区	グループ討議
(西鉄情報システム株式会社様	・事務局連絡
会議室)	· 総評
	 懇親会
2023.12.15	各研究グループ活動報告とフィードバック
西日本合同	グループ討議
(TKP 心斎橋駅前	・事務局連絡
カンファレンスセンター)	· 総評
	 懇親会

3) グループリーダ会議

月日(場所)	内 容	出席者数
2023.9.12	・ファシリテーション講習および公開会合の説明	32 名
東日本システム運用研究部会	・公開会合	
(ユニリタ本社)	・研究グループごとに次回以降の会合の進め方討議	
	・研究グループごとに発表	
	・代表・副代表からの総括	
2023.9.13	・グループリーダ会議の目的について	37 名
東日本情報活用研究部会	・グループディスカッション	
(ユニリタ本社)	・ディスカッション後の研究グループ内振り返り	
	・ディスカッションの振り返り結果の共有	
	・代表副代表からのコメント	
	・事務局連絡、IE03からの共有	
2023.9.14	•代表•副代表挨拶	30 名
西日本·九州合同	・進捗報告、フィードバック	
(オンライン開催)	・事務局連絡	
	・総評	
2023.10.6	・活動状況報告	11 名
中部合同	・各研究グループでの討議	
(ウインクあいち)	・事務局連絡	

4. 情報交換のための研究活動

1) マネジメント研究会

通算回数	月日(場所)	内 容	出席者数
第 155 回	2023.8.25~26	『Daigas グループ様の DX 人材育成のお取り組みについて』	21 社 36 名
	hu+g MUSEUM	株式会社オージス総研	
	(ハグミュージアム)	執行役員 OG システム開発本部 DX 統括部長	
	会議室	滝本 真吾 様	
第 156 回	2023.10.20~21	『「出光製造 DX」のお取り組みについて』	10 社 17 名
	出光興産株式会社様	出光興産株式会社	
	北海道製油所内	デジタル・ICT 推進部業務変革四課長	
	会議室	吉田 朋久 様	

2) IT ゼミナール

通算回数	月日(場所)	内 容	出席者数
第6回	2023.7.27	『シン NFT 戦略~未来のインフラとなる NFT の可能性~』	24 社 32 名
	(オンライン開催)	株式会社農情人	
		代表取締役社長 甲斐 雄一郎 様	
第7回	2023.11.10	『NFT 活用によるコミュニティ活性化を具体的に考える	3 社 20 名
	(ユニリタ本社)	~第 40 回 UNIRITA ユーザシンポジウム企画を考えてみよう~』	
		株式会社農情人	
		代表取締役社長 甲斐 雄一郎 様	

第2号議案 2023年度 決算報告

1. 2023年度決算

2023年1月1日 ~ 2023年12月31日

◆ 収入の部

(単位:円)

	予算	決算
前年度繰越金	1,657,094	1,657,094
	6,000,000	5,459,560
年会費収入計	(@30,000×200社)	(@30,000×182社)
全体会(春·冬)	1,200,000	981,000
合宿費	1,500,000	2,218,000
マネジメント研究会	450,000	347,000
懇親会等 参加費	3,150,000	3,546,000
会員からの収入計	9,150,000	9,005,560
協賛金(ユニリタ)	2,500,000	1,610,689
収入合計	13,307,094	12,273,343

◆ 支出の部

(単位:円)

		予算	決算
	研究会費	6,640,000	5,562,224
	合宿費	2,250,000	2,830,719
	共通費	2,017,094	1,884,380
	「シンポジウム会計」への総会費用の負担	400,000	400,000
	各会開催費用	11,307,094	10,677,323
	前年度研究部会活動費	1,000,000	596,020
	次年度繰越金	1,000,000	1,000,000
支	出合計	13,307,094	12,273,343

2. 第39回ユーザシンポジウム・総会 収支報告

◆ 収入の部

(単位:円)

	予算	決算
シンポジウム参加費	17,000,000	17,766,000
出展料	1,110,000	1,475,000
懇親会等 参加費	0	220,000
「本会計」からの総会費用の受入	400,000	400,000
参加者等からの収入	18,510,000	19,861,000
第38回ユーザシンポジウム ホテルキャンセル料充当	0	8,240,000
補助金(ユニリタ)	28,490,000	18,606,186
収入合計	47,000,000	46,707,186

◆ 支出の部

(単位:円)

H F BIF			(= -1 3/
		予算	決算
	宿泊費	9,000,000	8,476,430
	飲食費	9,000,000	7,565,477
	会場費	28,000,000	30,316,313
	懇親会運営費	1,000,000	348,966
支	出合計	47,000,000	46,707,186

2023年度のUNIRITAユーザ会の決算について、関係書類を調査の結果、正確であることを認めます。

会計幹事 株式会社ユニリタ

2024年1月25日

監査担当

第一生命情報システム株式会社

第3号議案 役員改選の件

2024 年度役員の紹介(敬称略)

会長



後藤 聖央 ソニー生命保険株式会社 執行役員 IT デジタル戦略本部

本部長 兼 同本部 グループウェア開発部 統括部長			
幹事	幹事	幹事	幹事
河村 優司	山口 公晃	井上 勝	田中 久子
さくら情報システム株式会社	京葉ガス株式会社	第一生命情報システム株式会社	SOMPOシステムズ株式会社
常務執行役員	CIS 再構築プロジェクト PMO	経営企画部 担当部長 兼	常務執行役員
エスアイエス・テクノサービス株式会社		経営企画グループ長	IT サービス第一本部長
代表取締役社長			
幹事	幹事	幹事	幹事
深沢 修	中俣 幸二	澤井 隆慶	廣瀬 真一
旭化成アミダス株式会社	株式会社リコー	出光興産株式会社	ANA システムズ株式会社
デジタルパートナー事業部	デジタル戦略部 コーポレートIT	デジタル・ICT 推進部 次長	上席執行役員
コーポレート IT グループ	統括センター IT インフラ統括室		
グループ長	クラウド推進グループ		
幹事	会計幹事	幹事	
水野 泰宏	野村 剛一	佐伯 寿雅子	
日東工業株式会社	株式会社ユニリタ	株式会社ユニリタ	
執行役員 DX 統括部長	取締役 上席執行役員	セールスユニット	
	プロダクトサービス事業本部長 兼	ゼネラルマネージャー補佐 兼	
	1		

メインフレーム部長

セールスプランニングディビジョン

営業推進グループ マネージャー

第4号議案2024年度活動計画案承認の件

1. 研究部会運営会議

研究部会の運営、研究部会間の調整、ユーザシンポジウムの企画・運営等について、各研究部会代表と ユーザ会幹事の代表が討議を行います。4月、11月に開催を予定しています。

2. 研究部会活動

地域性を重視した研究活動を行い、世話役として代表/副代表が各地区を担当します。研究グループは地区別に募集を行います。他地区の活動内容で興味のある方は、他地区の研究部会にも参加可能です。

1)地区一覧

地区名	対象
東日本地区	北海道·東北·関東·甲信越
中部地区	東海•北陸
西日本地区	近畿•中国•四国
九州地区	九州•沖縄

2) 研究活動内容

各研究部会では、1年を通じてテーマごとにグループで研究活動を行い、3月のユーザシンポジウムで研究成果を発表します。また、春は研究グループのキックオフ、冬は研究の進捗報告および研究グループ相互の情報交換を目的とした全体会を地区毎に実施し、親睦を深めるための懇親会を適宜行います。

研究部会名	内容
	あらゆる情報をビジネスの中に効果的に活用する方法や技術・事例を
情報活用研究部会	テーマにした研究を行います。
システム運用研究部会	ビジネスに貢献する IT サービスの実現に向けたシステム運用に関する
	技術・事例をテーマにした研究を行います。
合同研究部会	情報活用研究部会とシステム運用研究部会が連携して協力する技術・
	事例テーマにした研究を行います。

《スケジュール》

・2023 年 5 月
 ・2023 年 12 月
 ・2024 年 3 月
 春の全体会
 ・2024 年 3 月
 本の全体会
 ボループリーダ会議(各部会 1 回)

3)情報交換のための研究活動

名称	内容
マネジメント研究会	全国の部門長・マネージャクラスの方々を対象に、マネジメントの立場
	から見た情報システムにまつわる最新の話題を幅広く取り上げ、情報交
	換を行う。
IT ゼミナール	半歩先行くテクノロジー、IT 関係の仕事に携わる方が参考になる目か
	ら鱗の事例をテーマにとした講義あるいは、討議・情報交換を行う。
	また、1 つのテーマを小人数の同一メンバーで 2~3 回に渡り討議・情
	報交換するための勉強会を行う。

4) その他活動

1day セミナー	事例・新技術発表会・新バージョン説明会等の1日のセミナーを年数回
	開催。

上記のほか、会員に有益と思われる企画を随時開催する予定です。

第5号議案 2024年度 予算案承認の件

2024年度予算案

2024年1月1日 ~ 2024年12月31日

	2024年
	2024年
◆ 収入の部	(単位:円)
	予算
前年度繰越金	1,000,000
年会費収入計(@30000×190社)	5,700,000
全体会(春•冬)	1,200,000
合宿費	2,250,000
マネジメント研究会	260,000
懇親会等 参加費	3,710,000
会員からの収入計	9,410,000
協賛金(ユニリタ)	2,500,000
収入合計	12,910,000
以八日印	12,910,000
	00011
	2024年
◆ 支出の部	(単位:円)
	予算
研究会費	6,260,000
合宿費	2,700,000
共通費	1,550,000
「シンポッウム会計」への総会費用の負担	400,000
各会開催費用	10,910,000
前年度研究部会活動費	1,000,000
次年度繰越金	
支出合計	1,000,000 1 2,910,000
	12 910 000

第40回ユーザシンポジウム・総会 予算案

◆ 収入の部	2024年 (単位:円)
	予算
シンポジウム参加費	30,000,000
出展料	4,640,000
懇親会等 参加費	460,000
「本会計」からの総会費用の受入	400,000
参加者等からの収入	35,500,000
補助金(ユニリタ)	30,000,000
収入合計	65,500,000

◆ 支出の部	2024年 (単位:円)
<u> </u>	予算
宿泊費	15,500,000
飲食費	9,000,000
会場費	40,000,000
懇親会等 運営費	1,000,000
シンポジウム運営費(会場費等)	65,500,000
支出合計	65,500,000